

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市立

原山中学校



本校は、学校教育目標を「抱け 輝け 拓け」とし、「夢や希望を持つ生徒、思いやりの気持ちを持つ生徒、自分のよさを伸ばす生徒、心身ともに健康な生徒、可能性を信じ挑戦する生徒、広い視野を持ち行動する生徒」の育成に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市緑区太田窪 1-10-22 ■電話：048-882-3192
 ■FAX：048-811-1338 ■交通：JR浦和駅東口徒歩10分

01 地域社会との交流・連携を生かした教育活動の推進



本校では、年間を通して、地域行事（祭り、清掃活動）などのボランティア活動に積極的に参加し、防災訓練において高齢者世帯を訪問する共助の取り組みを行うなど、地域社会との連携を重視し、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」に寄与していきたいと考えています。体験活動を通して感じた課題を話し合い、地域住民の一人として行動していけるよう努力します。



02 人権教育・福祉教育の充実



本校では、総合的な学習の時間において、1年生の生徒全員がアイマスク・車椅子体験を行い、障がいのある方の困難さを共感し、共生社会の実現に向けて考える取組を行っています。また、人権標語や人権作文に毎年応募し、人権意識を高める活動を通して、SDGsの目標3「すべての立場に人に健康と福祉を」目標10「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきたいと考えています。体験活動を通して相手に立って考えられる生徒の育成に努力します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
東浦和中学校
学校教育目標
「夢を追え、自らを高めよ」
～学べ・磨け・輝け～



■所在地：さいたま市緑区中尾 1207-1 ■電話：048-873-4141
■FAX：048-810-1126 ■交通：国際興業バス「緑区役所入り口」下車徒歩4分

01 多様な考えに触れるSDGs



総合的な学習の時間、土曜チャレンジスクール等でSDGsについて学んでいます。土曜チャレンジスクールでは自分で設定した探求テーマをもとに掲示作品を作成し、中学生としてできることを考えています。作成した掲示物は、玄関付近や来客対応スペース等に掲示し、日頃から意識した行動をとれるよう心掛けています。

02 学校保健委員会の取組



近年の中学生に増加傾向にある歯肉炎などの歯の健康に関する問題や生活習慣に関する問題、引き続き注意の必要な感染症対策など、中学校生活でも留意しなければならない健康問題は多くあります。本校では、保健委員会の活動として、それらの問題の原因やその対処法は何かについて説明した動画を撮影、放送し、生徒一人ひとりが健康・健全な学校生活を送ることができるような取組を行っています。

03 総合的な学習の時間



総合的な学習の時間「STEAMS TIME」ではMinecraft Education Editionを利用して「理想の学校」を協働作業でつくる取組を行っています。取組を通して、誰もが過ごしやすい環境や、持続可能である環境の大切さについて学んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標

『知性・自律・健全』～世界へ・未来へ～

☆知性「知を磨き」 ☆自律「自らを律し」 ☆健全「心身を鍛える」

本校は、理解ある地域の皆様と武蔵野の自然に恵まれ、四季折々に咲く美しい花々に囲まれたその名の通りの美しい園にあります。

正門にはハナミズキ。そして玄関までの通路には両脇に16本ほど桜の木が並び、生徒たちは季節の風を感じながら活動することができます。これらは、地域の皆様から本校生徒の健全な育成を願い、寄贈していただいたものです。

「笑顔」と「歌声」に溢れ、これから先もずっと地域から愛し続けていただける美園中学校を目指します。



■所在地：さいたま市緑区大崎2550-3 ■電話：048-878-0019

■FAX：048-812-1049

交通：埼玉高速鉄道浦和美園駅から徒歩20分

JR浦和駅東口から美園駅行き 浦和大学 下車5分

JR大宮駅から浦和美園駅行き 浦和大学入口下車 徒歩3分

01 生徒が造る美しい園



生徒とPTA 合同で年3回、正門から昇降口までの花の植え替えを行います。

1 学期は3年生、2 学期は2年生

3 学期は1年生と学年単位で分担し、1年を通して花と緑のある潤いに満ちた環境作りを生徒自ら汗を流して行うことにより、自分たちが生活する場所への愛着や誇りをもてるようになってほしいと願っています。

02 違いを認め合える美しい園



全校生徒が笑顔であいさつができるようにと毎朝生徒会本部役員と学級委員が交代で正門に立ち、登校する生徒に大きな声であいさつを行っています。

また、世界の様々な国のメニューを給食で食べることで、他国の文化を尊重する心を育てます。この時期は、その国の言葉であいさつすることもあります。さらに、県立浦和特別支援学校との交流も行っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 尾間木中学校** >>>>>>>>>>

本校の教育活動は、さいたま市教育委員会が次の10年を見据えて掲げた「PLAN THE NEXT」の中の「3つのG」Grit（やり抜く力で新の学力の育成）、Global（国際社会で活躍できる生徒の育成）、Growth（一人ひとりの成長を支え生涯を学び続ける力の育成）を重視しつつ、「豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒」《考えながら動く》を学校目標とし、地域に根ざした信頼される学校づくりを推進しています。



■所在地：さいたま市緑区東浦和4丁目29番地1 ■電話：048-874-9733
 ■FAX：048-810-1127 ■交通：JR東浦和駅より徒歩15分

01 いじめを許さない、生徒に安心して生活できる学校づくり



尾間木中学校では、いじめの問題について、「いじめを許さない集団づくり」や「いじめが起きない学校づくり」を目指して、『ハナミズキ委員会』を開催しています。生徒の視点から、主体的に話し合いや取組を行い、「学校全体で出来ること」「各委員会で出来ること」を順次、実施しています。



02 生徒・地域のよりよい生活のための食育・環境教育の推進



給食委員会では、「残菜0(ゼロ)を目指すキャンペーン」や「マナーに関するキャンペーン」を実施しています。また、家庭や地域と連携し、学校運営委員会及び保護者対象の給食試食会の実施や、給食だよりによる積極的な情報発信を行うなどの取組を行っています。これらの取組を通して残菜率を減少させることで、食品ロスの減少を目指しています。

また、『地域の一員としての自覚をもって地域を愛し、積極的に郷土の美化、発展に努めようとする心を育てる』ことを目標に、年1回東浦和駅周辺の清掃活動を行っています。毎年、多くの生徒が参加し、学校や地域の環境改善に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
美園南中学校



学校教育目標 ☞ 「挑戦 創造 感動」 ～ One for All , All for One ～

目指す学校像

「学ぶ喜びのある学校」「夢を育み、笑顔があふれる学校」「たくましく生きていく力を身につけられる学校」

目指す生徒像 ☞ 「自ら考え、主体的に行動できる生徒」

目指す教師像

- 「生徒とともに成長し、学びつづける教師」
- 「生徒の心に寄り添い、生徒を大切にできる教師」
- 「生徒の可能性を引き出し、伸ばしていける教師」



■所在地：さいたま市緑区美園 6-15 ■電話：048-878-3511 ■FAX：048-878-3512

交通：埼玉高速鉄道「浦和美園駅」徒歩 16 分/JR 武蔵野線「東川口駅」徒歩 19 分

01 生徒一人ひとりを伸ばしていける学校教育の実現

学力向上・体力向上のさらなる充実



「学力向上」「体力向上」の充実を図り、生徒一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす教育に取り組んでいます。教科指導では ICT 機器を積極的に活用した個別・協働的な学びを探究する授業の展開、保健体育の授業を核とした運動好きな生徒の育成、運動を通じてあきらめない気持ちを育てるなど、将来たくましく生きていく力を育成しています。

02 私たちの地域を知り、私たちの地域に貢献するために

コミュニティスクールの充実



本校では、自分たちの地域をより知り、地域発展に関わる意識を一人ひとりが持ち、地域を大切する心を育むことを目指して様々な活動を行っています。学校運営協議会主催



の「地域美化活動」では地元自治会やPTAの皆様の協力を得ながら地域の清掃活動を行います。11月に行われた「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」では地域の幼稚園と連携し中学校3年生が園児との触れ合いの中で生命の大切を学び、生命尊重教育に関する活動を行いました。部活動では地域移行化を進めており、生徒の「やりたいこと」を突き詰め、自己実現につながるような部活動を地域と連携しながら運営していきます。

また、年間を通して学校施設の地域貸出を行っています。多くの団体が体育館や校舎内で様々な活動を行っています。

03 「服のカプロジェクト」

世界の難民の子どもたちへ服を届けよう



令和3年度より、本校 SSTC 部を中心にファーストリテイリングが主催する「服のカプロジェクト」に参加しています。「服のカプロジェクト」とは、着なくなった子ども服を廃棄するのではなく、世界の難民の子どもたちに贈る活動です。本校のみの活動ではなく、校区内の小学校や近隣の幼稚園などにも生徒自ら協力を依頼するなど、生徒が主体となり活動しています。部員の熱心な呼びかけ



などにより、令和5年度は合計5,725着の子供服を回収することができました。同時に UNHCR への募金の呼びかけも行い、40,472円を集めることができました。その結果「届けよう、服の子カラ」プロジェクトアワード 中学校の部優秀賞を受賞しました。引き続き、本校が中心となり、地域とともに SDGs の目標を達成できるよう取り組んでいきます。